

# 機関誌『季刊 環境技術会誌』投稿のお願い

本誌では随時原稿を募集しています。奮ってご応募ください。なお、ご投稿にあたっては、次の点にご留意ください。平成21年7月号から「論文の査読審査」を導入しました。詳しくは次頁の「論文投稿のご案内」をご参照ください。

1. 会員であればどなたでも投稿できます。会員外の方はお問い合わせください。
2. 内容は、廃棄物処理施設の維持管理並びにその他の廃棄物に関する報文、本誌巻頭グラビア写真（縦長の写真1（写真で表現するテーマを象徴するもの、原則カラー、出来上がりは本誌1頁大、裏面に主題を補足する横形写真2枚程度と撮影者、撮影年月日、被写体に向かっての感慨200字程度）、論評、感慨（ただし、廃棄物や環境に関するもの）、随筆（テーマは問いません。）、廃棄物関係図書の書評、マンガ、カット（絵）、川柳、詩歌、絵手紙etc歓迎します。  
また、地方協会からの便り、廃棄物処理に関する質問、会員の便り、本誌を読んでなどもお受けしています。
3. 原稿枚数等
  - 1) 頁物の原稿（報文）として投稿される場合は、原則として3頁（図表を含む）以内（23文字×42行×2段＝1,932文字/頁×3頁内）でおまとめください。但し、1頁目は（23文字×30行×2段＝1,380文字）冒頭に標題、著者名、所属、役職等を表記する行数を除きます。  
また、報文は原則として起承転結に相当する区分に分け、それぞれに表題をつけてください。なお、各標題の後は1行空けてください。本文書き出しは、1字空けてあげてください。さらに各表題中設ける中見出し、小見出しは行を空けずに、1字空けて書きだしてください。最終頁には余白が出ないようにしてください。
  - 2) 原稿は日本文とし、特殊な表現を除いて、新かなづかいを用い、「である」調で簡潔に記述してください。数字は原則算用数字とし、単位は国際単位系（SI）に倣い符号は慣用のものを使用してください。外来語はカタカナ表記とし、動植物等の学名はイタリック体として、アンダーラインを付してください。
  - 3) 図、表、写真は、図1（キャプションは下欄中央）、表1（表題は、上段中央）、写真1（キャプションは、下欄中央）ごとに順に番号を入れた表示をお願いします。原稿中に貼り付けられていないものは、原稿中に挿入場所（朱書き）をご指示下さい。出典のあるものは、必ず出典を明記ください。
  - 4) 引用又は参考文献は、下記の例のように記入して下さい。
    - ・書籍の場合：著者名、書籍名、頁数、出版元、発行年
    - ・雑誌の場合：著者名、表題、雑誌名、番号、頁数、発行年月
  - 5) その他の原稿は、ご執筆者の方で上記に準じて、適宜おまとめください。
  - 6) 原稿は原則ワードで作成し、メールで送信ください。なお、本文に貼り付けた図、写真、グラフ、表等は念のため生のデータも送りください。なお、絵手紙、カット、マンガなどは、生の著作物、オリジナルを郵送（この場合、メールアドレスを記載）ください。
  - 7) 原稿は原則としてご返却いたしませんのでご了承ください。
  - 8) 原稿は当方から不穏当な表現、あきらかな間違い、伝わりにくい表現などについて加筆、訂正などをお願いする場合があります。
  - 9) 原稿は、著者校正をしていただけます。当方から原則として（初）校正原稿を原則メールで送信させていただきます。
  - 10) 加筆、校訂、修正等の箇所をお送りしたコピー原稿にご指示いただき、（大幅な修正は、改めて電子化原稿にして送信してください。）FAX 03-6450-0986 若しくはメールでご返送ください。なお、修正等の無い場合も、その旨をご連絡ください。
  - 11) 採用させていただいた原稿の原稿料は、規定によりお支払させていただきます。
4. 発行日 毎年4月、7月、10月、翌年1月の各1日付です。各号の原稿締め切りは、発行日の2ヶ月前になります。投稿原稿は採否の目通しをさせていただきますので、早めにご連絡ご提出をお願いいたします。
5. 原稿の送付先

〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町7-1  
川崎日進町ビルディング14階  
一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 事務局  
Tel : 044-742-6218 / Fax : 044-742-6239

E-Mail : gikankyo-info01@jaem.or.jp

# 論文投稿のご案内

(平成21年～)

当協会は、平成21年7月に一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会として、廃棄物処理施設の維持管理技術の向上を図るため、新たに活動を行っているところです。「環境技術会誌」においては、会員の皆様方から報文を掲載してまいりましたが、投稿報文の学術的価値を高めるために、著者の希望により査読審査を行う「論文」を受け付けることにいたしました。

会員の皆様におかれましては、従来の報文等の投稿に加え「論文」にも奮ってご応募ください。なお、ご投稿にあたりましては、以下の「環境技術会誌」論文投稿規程に従い、執筆をお願いいたします。

## 「環境技術会誌」論文投稿規程

### 1. 投稿資格

投稿者は本协会会员とする。ただし、編集委員会が承認または依頼した者はこの限りではない。

### 2. 原稿の内容

原稿は廃棄物処理施設の維持管理や廃棄物処理に関する内容のものとする。ただし、他の出版物ですでに発表したもの、または営利上の宣伝に関するものは受理しないものとする。

### 3. 原稿の受付

投稿原稿は、下記の添付書類等を編集委員会宛に提出する。なお、原稿は返却しない。

#### 【送付原稿】

- ① 原稿送付票 1部
- ② 正原稿(和文要旨、本文、英文要旨、図表タイトル一覧、図表) 1部
- ③ 正原稿のコピー2部
- ④ 電子媒体(CD-ROM、USBメモリー等)

### 4. 原稿の採否

原稿の採否は、査読委員の審査を経て、編集委員会において決定する。

ただし、委員会が掲載可と判断した日をもって、その原稿の受理日とする。

### 5. 原稿の訂正

編集委員会は、査読委員の意見に基づき、著者に原稿の訂正を求めることがある。その場合、訂正を求められた原稿は1ヵ月以内に再提出することとし、この期間に委員会事務局に何の連絡もない場合には投稿を取り下げたものとみなす。

### 6. 原稿提出の注意

原稿提出時には、万一の事故に備え、また、原稿内容の問い合わせがあった時のために、必ず控えを保管すること。

### 7. 著者校正

論文は初校のみ著者に送付する。著者は速やかに校正し、締切日までに返送するものとする。なお、校正時における文章や図表の追加、変更は原則として認めない。

### 8. 別刷及び原稿PDFファイル

論文については、PDFファイルを著者に提供する。別刷りは、著者の申し出により印刷し、その料金を本会の規程に基づいて著者が支払うものとする。

### 9. 著作権

「環境技術会誌」に掲載された論文の著作権は本協会に属するものとする。

### 10. 執筆要領

原稿は次の要領に従って執筆するものとする。

- 1) 原稿はA4版用紙縦に横23文字、縦42行の2段組みとし、図表を含め総文字数が15,000字以内となるようにすること。なお、審査終了後に最終原稿をMicrosoft Word等形式で提出すること。なお、図表については、Microsoft Power Point等も利用可能である。
- 2) 原稿送付票には、表題、著者全員の勤務先、住所、氏名、電話番号、FAX番号を記入すること。
- 3) 論文の記載は次の順序を原則とする。
  - ① 第1ページ：表題、著者所属機関、著者名、和文要旨(400字以内)、和文キーワード(5語以内)
  - ② 第2ページ以降：本文、謝辞、参考文献
  - ③ 最終ページ：英文表題、英文所属機関、著者名、英文要旨(200語以内)、英文キーワード(5語以内)
- 4) 原稿の本文の区分けは、大見出し、中見出し、小見出しなどを明瞭にする。各標題の後は改行1して行空け、本文書き出しは、1字空ける。さらに各表題中設ける中見出し、小見出しは行を空けずに、1字空けて書きます。
- 5) 原稿は日本語とし、特殊な表現を除いて、新かなづかいを用い、「である」調で簡潔に記述してする。数字は原則算用数字とし、単位は国際単位系(SI)に倣い符号は慣用のものを使用する。外来語はカタカナ表記とし、動植物等の学名はイタリック体として、アンダーラインを付す。
- 6) 図、表、写真は、図1(キャプションは下欄中央)、表1(表題は、上段中央)、写真1(キャプションは、下欄中央)ごとに順に番号を入れて表示する。原稿中に貼り付けられていないものは、原稿中に挿入場所(朱書き)を指示すること。出典のあるものは、必ず出典を明記する。
- 7) 引用又は参考文献は、下記の例のように記入する。
  - ・書籍の場合：著者名、書籍名、頁数、出版年、発行年
  - ・雑誌の場合：著者名、表題、雑誌名、番号、頁数、発行年月

### 11. 原稿の送付先

〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町7-1  
川崎日進町ビルディング14階  
一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 事務局  
Tel : 044-742-6218 / Fax : 044-742-6239

E-Mail : gikankyo-info01@jaem.or.jp